

尼崎市長あて

## 尼崎市市民提案制度 実施結果報告書

尼崎市市民提案制度実施要綱に基づき、次のとおり報告します。

### 1 提案概要

団体名及び 代表者氏名	社会福祉法人みんなの労働文化センター 理事長 永岡 美紀（令和4年度当時）
事業名	学校給食用牛乳パックの回収事業（小学校給食関係事業費）
事業所管課	教育委員会事務局 学校教育部 学校給食課
事業内容	尼崎市立小学校から排出される学校給食用牛乳紙パックの収集、再資源化を図り、ごみの減量化及び資源の有効利用など、学校現場における環境教育の機会を創出するとともに、就労継続支援B型施設利用者の就業訓練の推進を図る。 【令和4年度における実施期間及び場所】 期間 令和5年1月～3月 場所 尼崎市立小学校のうち園田地区に所在する3校

### 2 事業評価

#### (1) 協働側面の評価

##### 実施手順

- 下表について、相互に自己採点する。評価基準は次のとおりとする  
A（よくできた）、B（まあまあできた）、C（あまりできなかった）、D（まったくできなかった）
- 結果を共有し、差異がみられる項目を中心に、原因や改善策等について意見交換を行う
- 協議内容は「3総合評価」に記載する
- 結果を共有する際は、衝突を恐れず、互いを尊重しながら、率直な意見交換を行うこと。

項目	団体等	所管課
1 事業計画（準備）段階		
(1) 課題や目標について共有し、理解し合うことができたか	A	A
(2) 相手の立場や組織、ルール等を共有し、理解し合うことができたか	A	A
(3) それぞれの強み弱みを理解し、補い合いながら計画を立てられたか	B	B
2 事業実施段階		
(1) 率直な意見交換を行い、理解し合いながら、対等な立場で実施できたか	A	A
(2) 予定外のことについて、協力して対応することができたか	A	B
(3) 役割分担にとらわれて任せっきりにすることなく、主体的に関われたか	B	B
(4) 実施中に目標や進捗を共有し、改善しながら進めることができたか	B	B
その他（契約締結後にあらかじめ任意で設定する項目、項目数は不問）		
(1)		
(2)		

## (2) 事業効果の評価

## 実施手順

- ・事業実施前を目途に、協議・合意の上、一つ以上設定する
- ・事業の効果が客観的に測れるよう、受益者の評価など、アウトカム指標を原則とする

	項目	内容
1	評価指標	再資源化が図られた牛乳パック量（回収された牛乳パック重量）
	測定方法	回収牛乳パックの重量測定
	結果	16.42キログラム（回収重量）
2	評価指標	
	測定方法	
	結果	

## 3 総合評価

<b>協働側面の評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校現場に提案者・市の両者で赴き、事業説明や意向調査を丁寧に実施するなど、互いに協力し合いながら事業を前進させることができた。</li> <li>・学校で行っている作業風景や教員の方々の関わり方など、直接見ることが出来ない場面がある。今後、上手く継続していくために、共に現場を見に行く機会を持ちたい。</li> </ul>
<b>事業効果の評価</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・少量ではあるものの、従来ゴミとして焼却処分されていた学校給食用牛乳パックの再資源化につながった。今後も再資源化を推進していくため、実施校の拡大等を図る必要がある。</li> <li>・学期ごとの回収量や、その効果を示すことで、リサイクル作業に関わった児童に再資源化の意味や効果を知ってもらうことが出来た。</li> </ul>
<b>総評</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食用牛乳パックのリサイクルは、児童による限られた作業時間や洗浄場所の確保、アレルギー児童への対応などの課題のほか、児童のリサイクル作業（洗浄・乾燥）をフォローするためには教員による協力が不可欠であるが、授業準備などの業務に追われる教員への負担増加につながる懸念があるなど、課題の多さに実施に至らなかった学校がある。今後も本事業による牛乳パックのリサイクルを進めるに当たっては、学校現場との協議・調整に重点を置きながら、学校現場の過度な負担増とならないよう慎重に進めていきたい。</li> </ul>